

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0「IaaS」プライベートリソース ご紹介資料

富士通株式会社


2025年7月



本資料の対象範囲



○ 本資料は、プライベートリソースについてご紹介します。

	FJcloud				
	O/V		Outstation		ベアメタル
	パブリックリソース	本資料の範囲 プライベートリソース	DC利用型	お客様先設置型	個別仮想基盤管理のユースケース向け
サーバ	共有	専有	専有	専有	専有
ストレージ	共有	専有 ※	専有	専有	共有
ネットワーク	共有	共有	専有	専有	共有
データセンター	富士通	富士通	富士通	お客様	富士通

※FJcloud-Vは専有コンポーネントをご利用いただくことでストレージの専有が可能となります。但しローカルディスクや増設ディスクは共有となります

プライベートリソースサービスの商品概要

- パブリッククラウド内に物理的に分離された仮想サーバおよびブロックストレージをお客様専有リソースとして提供するサービスです。

【特長】

コンプライアンスや規制要件への対応

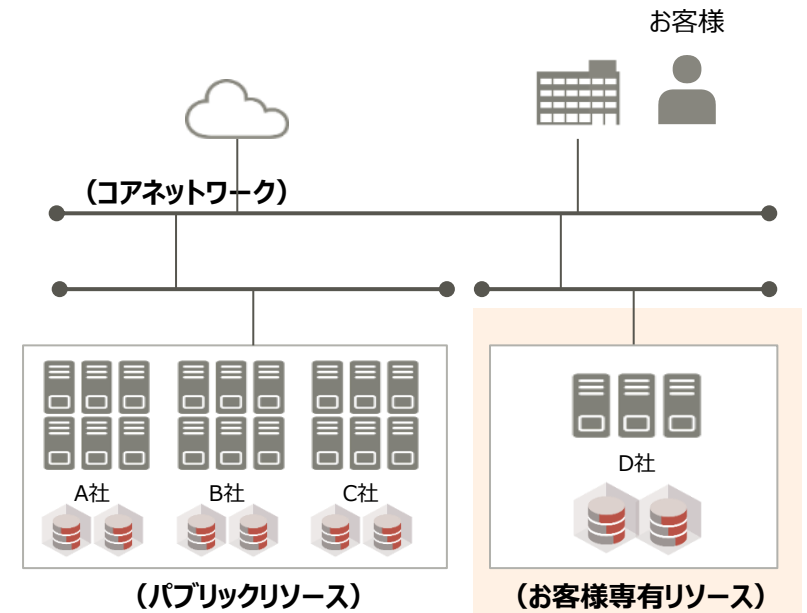
専用のリソースを提供するため、他のお客様との共有が認められない要件に対してもクラウド活用が可能

基幹システムが求める性能コントロール

専用の物理リソースを提供するため、他の利用者の影響を限りなく受けてシステム運用が可能

従量課金型のサービス提供

従量課金メニューはFJcloud-O パブリッククラウドと同等の価格でご提供可能



サーバ／ストレージ専有型 プライベートリソースサービス

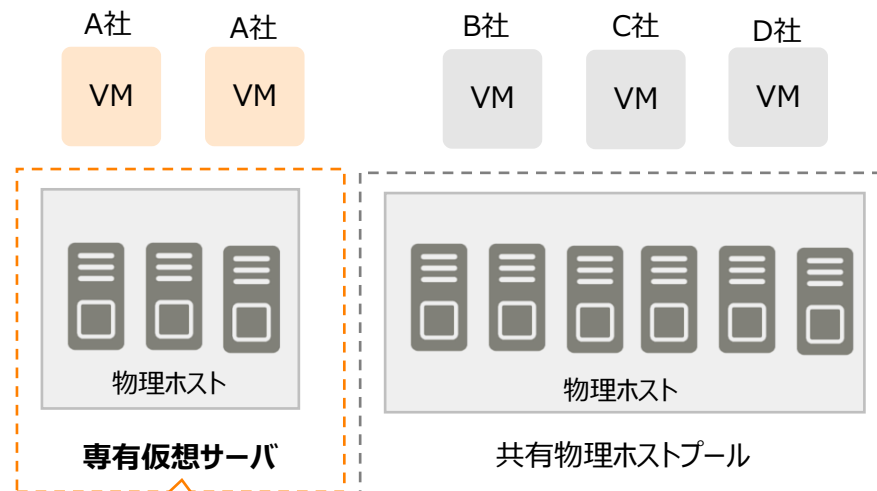
※東日本リージョン 3、西日本リージョン 3 のみが対象です。

- サーバ／ストレージ専有型プライベートリソースサービスの商品ラインナップは次の通りです。

OS提供サービスについては、パブリッククラウドと同じメニューが利用可能です。

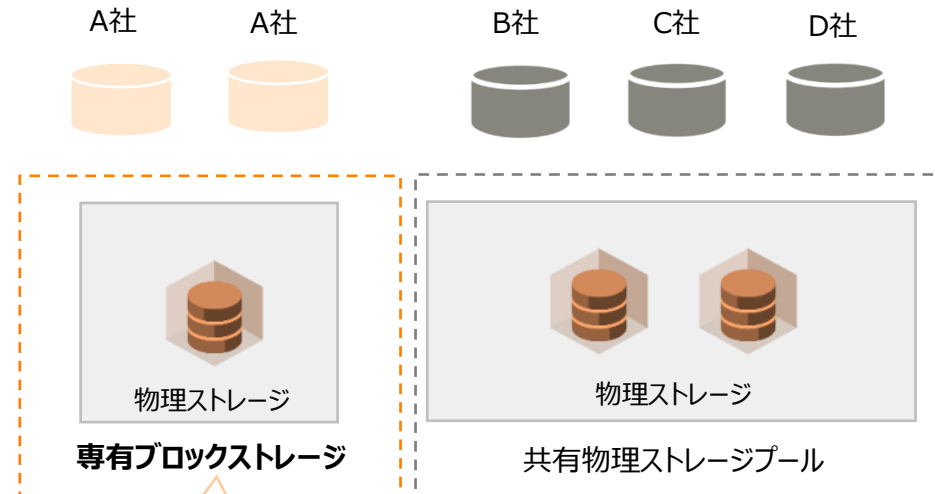
専有仮想サーバ

- 仮想サーバを配備する物理ホストをお客様専用で提供



専有ブロックストレージ

- 仮想ストレージを配備する物理ストレージをお客様専用で提供

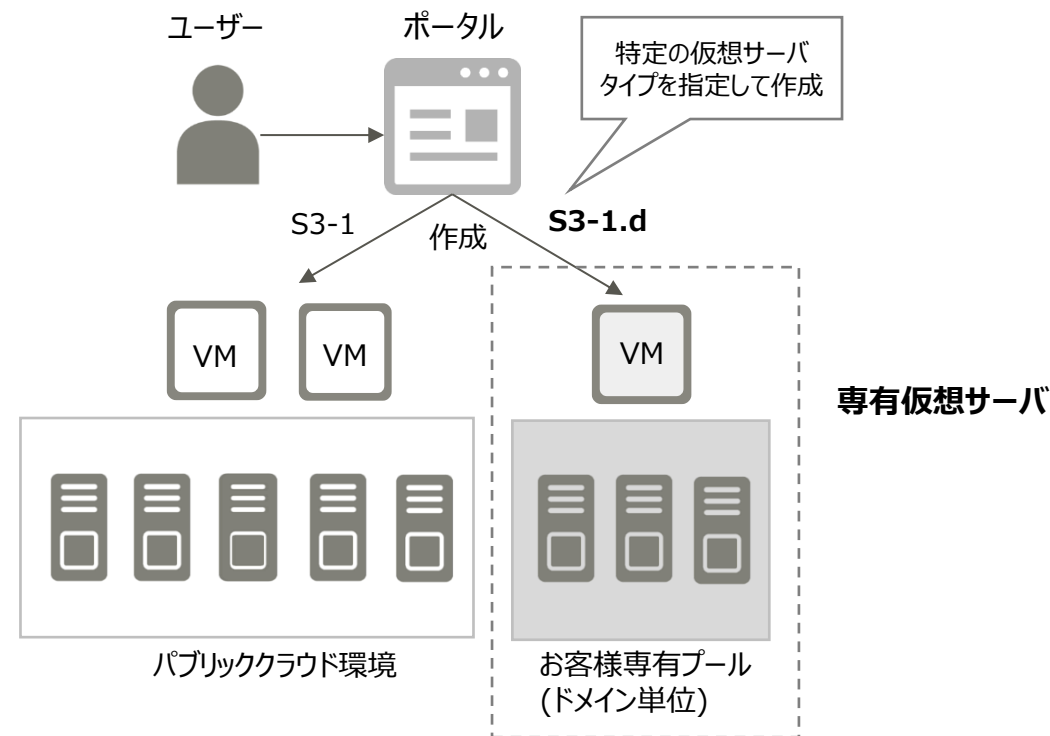


専有仮想サーバ（ハイスピードCPU）

- 契約ドメイン単位で仮想サーバを配備する専用の物理リソースプールをご提供します。

○ 仕様

項目	内容
リソースタイプ	仮想サーバのハイスピードCPUタイプが利用できます。
仮想サーバ作成	特定の仮想サーバタイプを指定することにより、お客様専用のプールに配備されます。
仮想サーバ機能	パブリッククラウド同等の仮想サーバの機能がそのままご利用できます。
仮想アプライアンス	特定の仮想サーバタイプを指定することにより、お客様専用のプールに仮想アプライアンスを配備することが可能です。 対象仮想アプライアンス： ・IPCOM VE2m



○ 注意事項

- 希望の専有仮想サーバリソースプールタイプや数量、お申込みのタイミングによってはすぐにご利用できない場合があります。事前にご相談ください。

専有仮想サーバリソースプールタイプ（詳細）



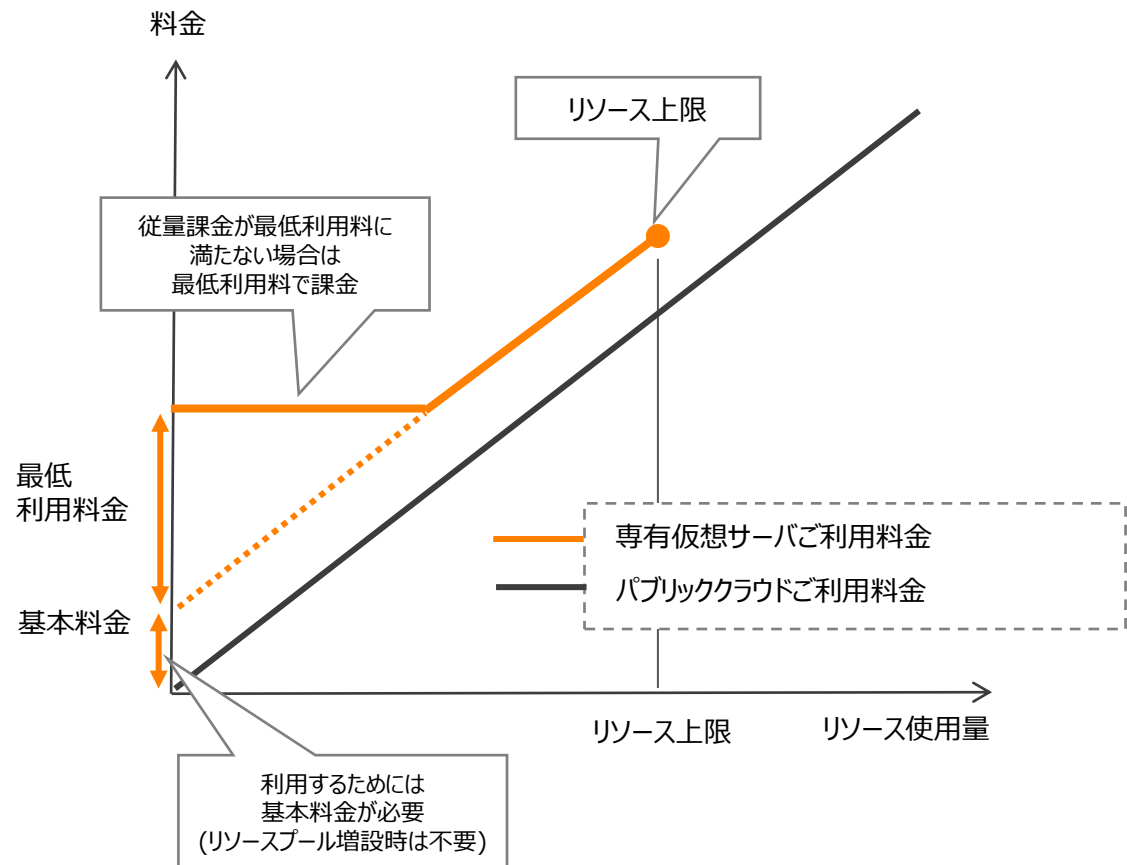
項目		ハイスピードCPUタイプ（DH2）
仮想サーバリソース	利用可能仮想サーバタイプ	ハイスピードCPUタイプ（東3/西3）相当 仮想CPUは、2.6GHz相当
	提供単位	リソース
	1リソースあたりの物理サーバ数	3台（故障時の予備機含まず）
	1リソースあたりの最大リソース(*1)	仮想CPU： 576 vCPU メモリ： 2,958 GB
期間拘束		なし（一ヶ月単位）
提供方式		申請書による申し込み 納期：約1ヶ月（在庫がある場合）
提供リージョン		東日本3／西日本3

*1：1リソース内の物理サーバの合算値(最大値)であり、ご利用によって配備される仮想サーバの組み合わせによっては最大数までご利用できない場合があります。

専有仮想サーバ ご利用料金



○ 専有仮想サーバのご利用料金は 基本料金 + 従量課金（最低利用料あり）で決定します。



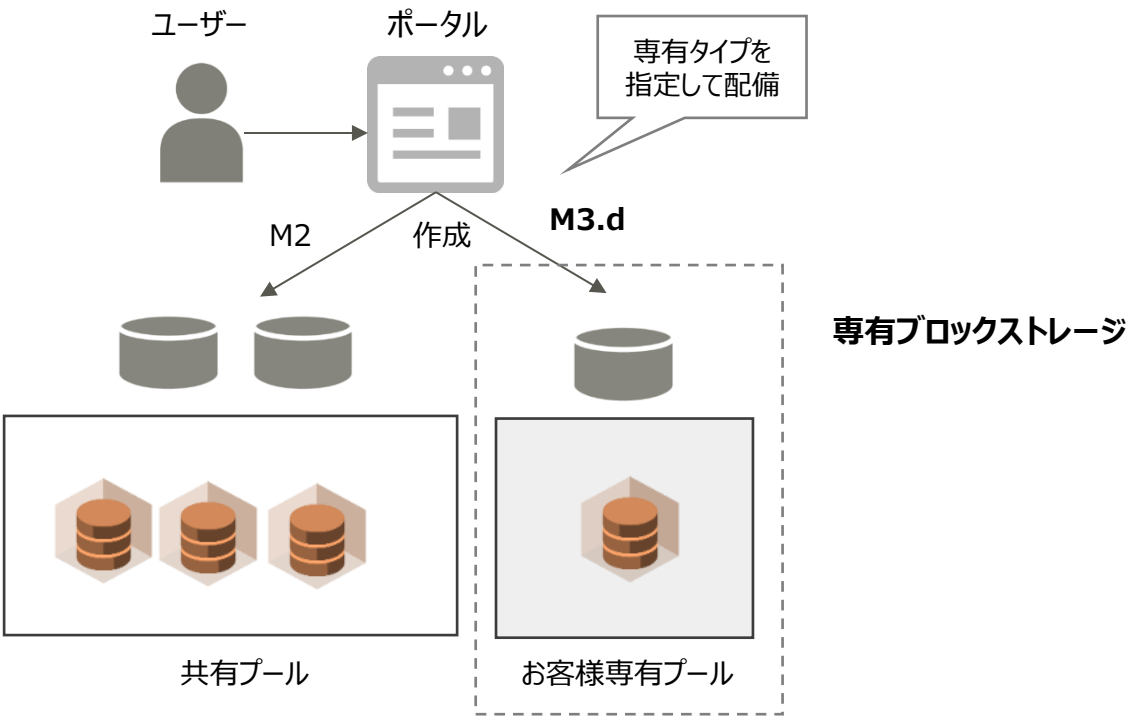
項目	単位	内容
基本料金	リージョン・月	専有仮想リソースの利用料金。 基本料金は、リージョン単位でかつリソースタイプごとに必要です。
専有仮想サーバ	台数・時間	専有仮想サーバの料金 専有仮想サーバのタイプごとの料金が設定されています。(*1) また、毎月の専有仮想サーバの料金が最低利用料金に満たない場合は、最低利用料金となります。 最低利用料金 ・各専有仮想サーバリソースの商品ごとに最低利用料金が設定されています。 ・専有仮想サーバリソースにリソース追加した場合、最低利用料金は各商品の最低利用料金の合算値となります。

*1: パブリッククラウドの同一タイプと同じ料金です。

○ 契約ドメイン単位でブロックストレージを配備する専用の物理リソースプールをご提供します。

○ 仕様

項目	内容
リソースタイプ	パブリッククラウドのブロックストレージM2タイプ相当を利用できます。
ボリュームの作成	専有ブロックストレージタイプを利用することによりお客様専用のプールに配備されます。
ストレージ機能	パブリッククラウド同等のブロックストレージ、スナップショット機能が利用できます。



○ 注意事項

- 利用開始の7ヶ月前までに所要申告、および5ヶ月前までに申込を行う必要があります。

専有ブロックストレージリソースプールタイプ（詳細）

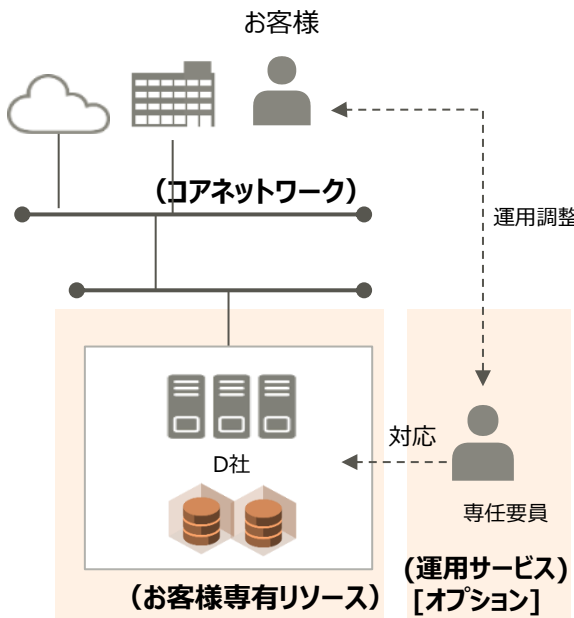


項目		専有ブロックストレージリソース(DBS2)
ブロックストレージ	利用可能ブロックストレージタイプ	専有ブロックストレージ タイプ (M3.d タイプ)
	提供単位	リソース
	1リソースあたりの最大ストレージ容量(*1)	194TB (スナップショット含む)
期間拘束		なし（一ヶ月単位）
提供方式		本商品は受注型商品となります。 利用開始の7ヶ月前までに所要申告、および5ヶ月前までに申込を行う必要があります。
提供リージョン		東日本3、西日本3

*1: ストレージ容量は論理値であり、最大値を保障するものではありません。

メンテナンスの運用調整（オプション）

- より重要な基幹システムが求めるきめの細かい運用の個別調整にご対応します。
- ご提供する専有リソースに対するメンテナンスが対象です。※
- 本機能をご利用いただくには、ヘルプデスク プレミアムのご契約が必要です。



項目	専有仮想サーバリソース	専有ブロックストレージリソース
メンテナンス対象	専有仮想サーバリソース内の物理ホスト	専有ブロックストレージリソース内の物理ストレージ
メンテナンス内容	物理ホストのバージョンアップ・パッチ適用など、お客様が作成した仮想サーバのライブマイグレーションがともなう計画メンテナンス作業	物理ストレージのファームアップ・パッチ適用など、お客様が作成したボリュームに対して性能劣化などの影響が想定される計画メンテナンス作業
調整方法	お客様にメンテナンス内容とメンテナンス候補日時を通知します。 お客様でメンテナンス候補日時を選択して回答いただきます。	
対象外	コアネットワーク、APIなど共有部分のメンテナンスは対象外となります。	

※ 共通の基盤に対するメンテナンスが必要な場合は、ご要望をお受けできないことがあります。

- 仮想サーバ問題発生時のお客様による問題切り分けや、問題発生 of 未然防止を支援します。
- 仮想サーバと物理ホストの関係、物理ホストの状態、キャパシティといった物理環境情報を取得することができます。
- 本機能による追加料金はありません。

プライベートリソースモニタリング一覧

	区分	サービス	提供機能	提供情報	機能説明	利用用途例
1	問題の切分	専有 仮想サーバ	仮想サーバが稼働した物理ホスト変更履歴情報	仮想サーバID、仮想サーバ名、変更履歴(日時、物理ホスト名)	仮想サーバの稼働している物理ホストが変更された日時をお客様自身で確認することができます。	機器障害における仮想サーバのトラブル調査において、物理ホストの障害との関連を調査できます。
2			物理ホスト上の仮想サーバ一覧情報	物理ホスト名、プロジェクトID、仮想サーバID、仮想サーバ名、フレーバー	物理ホスト上に配備されている仮想サーバを一覧化することができます。	冗長化構成の仮想サーバが同じ物理ホスト上に配備していないことをお客様自身で確認することができます。
3			物理ホストの稼働状態	物理ホスト名、状態(稼働/停止)	物理ホストの物理ホスト名、稼働状態(稼働/停止)を確認することができます。	問題発生時に物理ホストの状態をお客様自身で確認することができます。
4	問題発生 of 未然防止	専有 ブロックストレージ	物理ホストのキャパシティ情報	物理ホスト名、vCPU数(利用/空き)、メモリ(利用/空き)	お客様自身でキャパシティ情報を確認することができます。	キャパシティ不足を未然に回避し、増設計画を立てることを容易にすることができます。
5			物理ストレージのキャパシティ情報	ストレージサイズ(利用/空き)、ボリューム数	お客様自身でキャパシティ情報を確認することができます。	キャパシティ不足を未然に回避し、増設計画を立てることを容易にすることができます。

Thank you

